

# 読書のすすめ

その 34 H 28 11 / 11

ホワイトボード！

11月2日に図書館にホワイトボードが入りました！  
授業や読書会、各種委員会などで利用してください。

## 10月の図書館利用状況

開館日数	17日
利用者数	507人
貸し出し冊数	88冊

## 10月までの貸し出しランキング

- |    |                                      |                                    |
|----|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1位 | 海の見える理髪店<br>タスキメシ<br>君の臍臓をたべたい<br>陸王 | (荻原浩)<br>(額賀濤)<br>(住野よる)<br>(池井戸潤) |
| 2位 | ツバキ文具店                               | (小川糸)                              |
| 3位 | コンビニ人間<br>コーヒーが冷めないうちに<br>幹事のアッコちゃん  | (村田沙耶香)<br>(川口俊和)<br>(柚木麻子)        |

※直木賞・芥川賞受賞作品や読書感想文指定図書など話題の本が多く読まれました。



## 図書紹介 『蜜蜂と遠雷』 恩田陸 (幻冬舎)



3年ごとに開催される芳ヶ江国際ピアノコンクール。「ここを制した者は世界最高峰のS国際ピアノコンクールで優勝する」ジnkクスがあり、近年、覇者である新たな才能の出現は音楽界の事件となっていた。養蜂家の父とともに各地を転々と自宅にピアノを持たない少年・風間塵15歳。かつて天才少女として国内外のジュニアコンクールの死を制し、CDデビューもしながら、13歳のときの母の突然の死去以来長らくピアノが弾けなかった栄伝亜夜20歳。音大出身だが今は楽器店勤務のサラリーマンでコンクール年齢制限ギリギリの高島明石28歳。完璧な演奏技術と音楽性で優勝候補と目される名門ジュリアード音楽院のマル・C・レヴィリアナトル19歳。彼ら以外にも数多の天才たちが繰り広げる競争という名の自らの闘い。第1次から3次予選を経て本選を勝ち抜き優勝するのは誰なのか？

久々の恩田作品。「祝祭に満ちたすばらしい作品」に出会えました。個人的には今年ベスト（次点は『ツバキ文具店』かな）です。文字を読んでいるのに音を読んでいる錯覚を覚え、壮大な、あるいは繊細な音の世界に浸ることができました。クラシックに関する予備知識のない人間ですが、全てのイマジネーションを掻き立てられ、一気に読み終えるのもつたいなく、いつまでもこの余韻に浸っていたい本でした。ことさらに「事件」は起きない。それでもこの本の世界に没頭し、何もないのに目頭があつくなくなっていました。

世界は音楽で溢れている。遠くから聞こえる雷の音も、頭上で唸る蜂の羽音もすべて母なる自然からの贈り物。そういう「音」を音楽として受け取ることができることはなんて平和で幸せなことなんだろう。ぜひ一読あれ！

ちよっと気になるこれからの本



## 『天子蒙塵』 浅田次郎 (講談社)

大ベストセラー『蒼穹の昴』シリーズ待望の第5部スタート。王朝再興を夢見る溥儀。梁文秀と春児はそれぞれに溥儀らを助けるが――イギリス亡命を望む正妃・婉容。そして側妃・文繡は「自由」を選んだ。史上初めて中華皇帝と離婚した文繡。その裏にはいかなるドラマがあったのか――。



図書館ベランダから富士山がみえます！